

知識確認問題

～IX.運転者の運転適性に応じた安全運転～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

運送事業者は、事故惹起運転者、(初任) 運転者、高齢運転者に対し、国土交通大臣が認定する適性診断を運転者に受診させることが(義務) 付けられています。

【問題 2】

適性診断の結果から、自分自身では気づきづらい、運転の(くせ) を知ることができます。

【問題 3】

感情の安定性の評価が低い場合は、イライラ運転、張り合う運転、急のつく運転など(粗暴) 運転などにつながりやすくなります。

【問題 4】

協調性の評価が低い場合は、譲り合いができない、(迷惑) をかけても平然としている、ひとりよがりの運転などにつながりやすくなります。

【問題 5】

安全運転態度の評価が低い場合は、荒っぽい運転、スピード本位で(危険) を誘発するような運転、運転を(甘く) 考え、行動が軽率になりがちになります。

【問題 6】

危険感受性の評価が低い場合は、特定のものに(注意) が奪われ、一点集中になりやすくなります。また、よく見ようとせず、見落としや(見誤り) が多く、ヒヤリハットを起こしがちになります。

【問題 7】

注意の配分の評価が低い場合は、道路上の(状況) 変化を効率よく的確に把握しきれない、交差点で右左折するとき、(対向) 車だけに気を奪われ、歩行者などに目が届かないということが起きやすくなります。逆に、歩行者に気を取られ、他の車の動きから注意が削がれやすくなります。

【問題 8】

判断・動作のタイミングの評価が低い場合は、動作が先走って、(情報) の確認がおろそかになりがちです。確認よりも動作に重点がおかれた運転につながりやすいです。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。